

# Q 高速道路で事故・故障。 こんなとき、どうする？

## A 発炎筒で周囲に知らせる



高速道路において、交通事故や故障・パンク・燃料切れ等の緊急事態が発生した際、後続車に対して、前方に危険・障害物があることを知らせ、二次的 사고を防ぐために発炎筒を使用します。いざという時のために正しい発炎筒の使い方を理解するとともに、設置場所や有効期限を定期的に確認しておくことが大切です。

### 発炎筒の性能

有効期限

4年

※4年を超えた発炎筒は上手く点火しない恐れがある為交換しなければなりません

燃焼時間

5分

視認距離

日中 600m以上  
夜間 2,000m以上

耐雨性

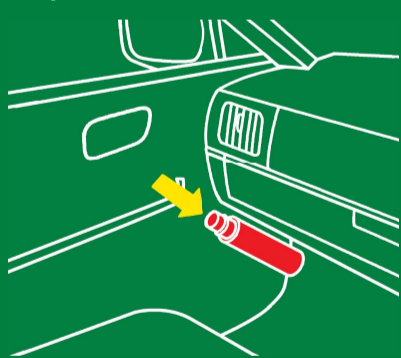
50  
mm/h(時)

耐風性

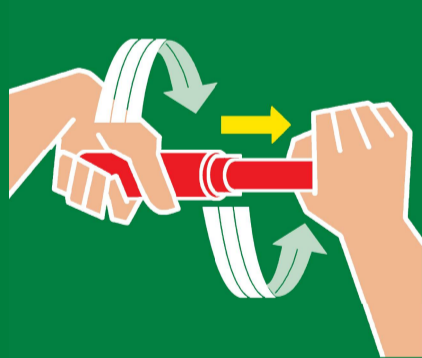
18  
m/sec(秒)

### 発炎筒の使い方

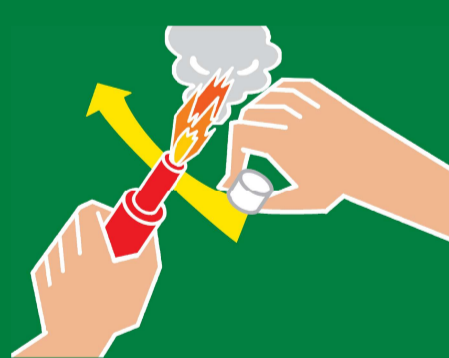
① 常にどこにあるか確かめておく



② キャップをひねりながら抜く



③ すり薬でこすり、点火する



④ すばやく道路に置き、安全な場所に避難



### 使用の際の注意点



引火の可能性があるため、ガソリンやオイルが漏れている時は使わない。



トンネル内では視界不良の恐れがあるため、使わない。

△ 事故時はドライバーが怪我等で動けない場合もあります。同乗者も緊急時の対応を心がけましょう。

発炎筒は高速道路での二次的 사고を防ぎます